

# JAえちご中越 さんとう地域「ゆきん子舞」栽培暦

月	4月					5月					6月					7月					8月					9月																						
日	5	10	15	20	25	5	10	15	20	25	5	10	15	20	25	5	10	15	20	25	5	10	15	20	25	5	10	15	20	25																		
出穂前後日数																					-23					-14					0					+38												
生育ステージ	<p>品種特性に合わせた作業計画の策定</p> <p>種子消毒 (温湯消毒)</p> <p>浸種開始 4月3日</p> <p>催芽 4月13日</p> <p>播種 4月15日</p> <p>播種量の目安: 140g/箱</p> <p>育苗日数は20日程度 → 田植え 5月5日</p> <p>中干し開始 6月5日</p> <p>最高分げつ期 6月25日</p> <p>1回目穂肥 7月2日</p> <p>2回目穂肥 7月11日</p> <p>出穂期 7月25日</p> <p>収穫期 9月1日</p>																																															
	<p>《稚苗の規格》</p> <table border="1"> <tr><td>草丈</td><td>12.0cm</td></tr> <tr><td>葉齢</td><td>2.0~2.3葉</td></tr> <tr><td>第1葉鞘長</td><td>3.0~3.5cm</td></tr> <tr><td>緑化終了時の苗丈めやす</td><td>3.0~3.5cm</td></tr> </table> <p>生育状況グラフ: 60本(12cm) → 380本(30cm) → 630本(56cm) → 580本(65cm) → 500本(80cm) → 470本(85cm)</p> <p>目標値: 6/8~15 (刈刈ワイーク), 7/6~13 (刈刈ワイーク)</p> <p>生育調節: 37.0~41.0, 37.0~39.0, 36.0~38.0, 36.0~38.0</p> <p>管理: 全ほ場で溝切り, 的確な生育診断による適切な穂肥施用, 病害虫防除対策の徹底 (いもち病・紋枯病・カメムシ), 気象予報と出穂以降の積算温度にもとづく「刈取計画の策定」</p>																									草丈	12.0cm	葉齢	2.0~2.3葉	第1葉鞘長	3.0~3.5cm	緑化終了時の苗丈めやす	3.0~3.5cm															
草丈	12.0cm																																															
葉齢	2.0~2.3葉																																															
第1葉鞘長	3.0~3.5cm																																															
緑化終了時の苗丈めやす	3.0~3.5cm																																															
病害虫防除	<p>【いもち病予防】ルーチンライト箱粒剤 播種時~移植当日</p> <p>除草剤散布</p> <p>“補植苗”を早期に撤去する</p> <p>6月中旬~ 葉いもち病 早期発見 早期防除</p> <p>【紋枯病】バリタシン剤 (収穫14日前まで) 穂ばらみ期~出穂期</p> <p>【カメムシ防除】スタークル剤 穂ぞろい期</p>																																															
水管理	<p>田植後→3~4cmのやや深水で植え傷み回避</p> <p>活着後→2~3cmのやや浅水で早期分げつ促進</p> <p>除草剤散布時→湛水状態(水深5~6cm)で散布</p> <p>中干し開始まで→浅水更新でワキの発生防止</p> <p>やや深水 → 一時湛水 → 浅水更新</p> <p>生育量を把握して遅れずに!! 小ヒビが入る程度になったら終了</p> <p>中干し・溝切り</p> <p>飽水管理の継続 ⇔ タメ水厳禁 (異常高温時には一時湛水)</p> <p>フェーンの発生時: 地域の水利条件等に応じた夜間水温を下げるこまめな水管理の徹底</p> <p>出穂後25日以降に最終かん水を実施!!</p>																																															
栽培管理のポイント	<p><b>Point 1</b> ~適正な作業計画の策定により健苗を育成します~</p> <p>① 適期播種、適正な播種量、育苗期間20日程度で健苗を育成</p> <p>② 土壌診断結果にもとづく土づくり資材(有機質・ケイ酸)の施用</p> <p>③ 作土深15cmの確保~ほ場条件に応じた適正量の基肥施肥→基肥N施肥量のめやす: 「10a当たり7kg」→極端な多肥栽培は避ける</p>																																															
	<p><b>Point 2</b> ~適期田植えて初期生育を確保します~</p> <p>① 移植前追肥(べんとう肥)の施用 → 活着・初期生育を促進</p> <p>② 田植期のめやすは5月5日</p> <p>・栽植密度: 60株/坪</p> <p>・植付本数: 3~4本/株</p> <p>・植付深さ: 2~3cmの浅植え</p> <p>③ いもち病の発生しやすい地域・ほ場では予防防除(箱施用剤)を徹底 → 補植苗を速やかに撤去</p>																																															
<p><b>Point 3</b> ~生育状況にあわせた生育調節で過剰生育を抑制します~</p> <p>① 目標穂数の80%(380本/m<sup>2</sup>=1株あたり21本)を確保してから→適期中干し開始</p> <p>② 全ほ場で溝切り(10条:3mに1本) → 速やかなかん水・排水管理</p> <p>③ 本格的な梅雨入り前にしっかり地固め → 中干しは小ヒビが入る程度になったら終了~遅くとも出穂30日前までに飽水管理へ移行</p>																																																
<p><b>Point 4</b> ~病害虫防除と水管理の徹底で稲体機能を維持します~</p> <p>① いもち病・紋枯病の早期発見~早期防除(こまめにほ場巡回)</p> <p>② 中干し以降は、田面が強く乾くことのないよう飽水管理を継続(強い中干し・タメ水→厳禁)</p> <p>③ 出穂後25日以降に最終かん水を入水(落水は出穂28日以降) ~異常高温時には、速やかに一時湛水~高温障害を防止</p>																																																
<p><b>Point 5</b> ~適切な生育診断による穂肥施用 → 品質・収量を確保します~</p> <p>① 穂肥は出穂25~23日前(幼穂形成期ころ)と14日前の2回に分けて施用 → 施肥量は①回目N: 3.0~4.0kg、②回目N: 2.0~3.0kg、合計 5.0~7.0kg/10aを目安とする</p> <p>② 2回目の穂肥は確実に施用する</p> <p>③ 急激な葉色低下(SPAD36以下)がみられた場合は追加穂肥を施肥</p>																																																
<p><b>Point 6</b> ~適期刈取、適切な作業により高品質米に仕上げます~</p> <p>① 出穂後の積算気温: 975℃を参考に 籾の黄化率(90%)を確認して適期に収穫する → 異常高温が予想される場合には早めに収穫</p> <p>② 胴割粒の発生防止: 刈遅れに注意 ~ 籾水分の確認による適正な乾燥温度・速度で急激に乾燥させない</p> <p>③ 収穫後は早めに土づくり資材の投入 + 稲わらの秋すき込み</p>																																																
<p>《施肥のめやす》 (成分 kg/10a)</p> <table border="1"> <tr><th>区分</th><th>時期</th><th>N成分</th><th>備考</th></tr> <tr><td>土づくり</td><td>収穫後</td><td>-</td><td>稲わら秋すき込み 有機質・けい酸質資材</td></tr> <tr><td>基肥</td><td>~田植え</td><td>5.0~7.0</td><td>地力に応じて</td></tr> <tr><td>穂肥1</td><td>出穂25~23日前</td><td>3.0~4.0</td><td>遅れずに施肥~籾数確保</td></tr> <tr><td>穂肥2</td><td>出穂14日前</td><td>2.0~3.0</td><td>しっかり施肥~登熟向上</td></tr> <tr><td>合計</td><td>-</td><td>10.0~14.0</td><td>*一発基肥 トータルN: 10.5~13.5kg</td></tr> </table>																									区分	時期	N成分	備考	土づくり	収穫後	-	稲わら秋すき込み 有機質・けい酸質資材	基肥	~田植え	5.0~7.0	地力に応じて	穂肥1	出穂25~23日前	3.0~4.0	遅れずに施肥~籾数確保	穂肥2	出穂14日前	2.0~3.0	しっかり施肥~登熟向上	合計	-	10.0~14.0	*一発基肥 トータルN: 10.5~13.5kg
区分	時期	N成分	備考																																													
土づくり	収穫後	-	稲わら秋すき込み 有機質・けい酸質資材																																													
基肥	~田植え	5.0~7.0	地力に応じて																																													
穂肥1	出穂25~23日前	3.0~4.0	遅れずに施肥~籾数確保																																													
穂肥2	出穂14日前	2.0~3.0	しっかり施肥~登熟向上																																													
合計	-	10.0~14.0	*一発基肥 トータルN: 10.5~13.5kg																																													
<p>《生育のめやす》</p> <table border="1"> <tr><th>生育ステージ</th><th>時期</th><th>草丈 (cm)</th><th>茎数 (本/m<sup>2</sup>)</th><th>葉色 (SPAD)</th></tr> <tr><td>1回目穂肥</td><td>7/2</td><td>65</td><td>580</td><td>37~39</td></tr> <tr><td>2回目穂肥</td><td>7/11</td><td>80</td><td>500</td><td rowspan="2">36~38</td></tr> <tr><td>出穂期</td><td>7/25</td><td>85 (稈長)</td><td>470 (穂数)</td></tr> </table>																									生育ステージ	時期	草丈 (cm)	茎数 (本/m <sup>2</sup> )	葉色 (SPAD)	1回目穂肥	7/2	65	580	37~39	2回目穂肥	7/11	80	500	36~38	出穂期	7/25	85 (稈長)	470 (穂数)					
生育ステージ	時期	草丈 (cm)	茎数 (本/m <sup>2</sup> )	葉色 (SPAD)																																												
1回目穂肥	7/2	65	580	37~39																																												
2回目穂肥	7/11	80	500	36~38																																												
出穂期	7/25	85 (稈長)	470 (穂数)																																													
<p>《品質向上・収量確保目標》</p> <table border="1"> <tr><td>玄米1等級比率</td><td>90%以上</td></tr> <tr><td>10a当たり収量</td><td>720kg</td></tr> </table>																									玄米1等級比率	90%以上	10a当たり収量	720kg																				
玄米1等級比率	90%以上																																															
10a当たり収量	720kg																																															
<p>《品種特性》</p> <table border="1"> <tr><th>早晩生</th><th>耐倒伏性</th><th>刈り方</th><th>穂いもち</th><th>紋枯病</th></tr> <tr><td>早生</td><td>強</td><td>中</td><td>中</td><td>中</td></tr> </table>																									早晩生	耐倒伏性	刈り方	穂いもち	紋枯病	早生	強	中	中	中														
早晩生	耐倒伏性	刈り方	穂いもち	紋枯病																																												
早生	強	中	中	中																																												
<p>《収量構成要素》</p> <table border="1"> <tr><th>収量 (kg/10a)</th><th>1穂粒数 (粒)</th><th>穂数 (本/m<sup>2</sup>)</th><th>m<sup>2</sup>籾数 (百粒)</th><th>登熟歩合 (%)</th><th>千粒重 (g)</th></tr> <tr><td>720</td><td>77</td><td>470</td><td>360</td><td>88%</td><td>23.0</td></tr> </table>																									収量 (kg/10a)	1穂粒数 (粒)	穂数 (本/m <sup>2</sup> )	m <sup>2</sup> 籾数 (百粒)	登熟歩合 (%)	千粒重 (g)	720	77	470	360	88%	23.0												
収量 (kg/10a)	1穂粒数 (粒)	穂数 (本/m <sup>2</sup> )	m <sup>2</sup> 籾数 (百粒)	登熟歩合 (%)	千粒重 (g)																																											
720	77	470	360	88%	23.0																																											